

第19回
中国ろうきん杯
学童軟式野球
選手権大会

夢の舞台で全力プレー //

熱戦・熱闘の決勝大会

2022年8月13日(土)・14日(日)の2日間、第19回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会「決勝大会」を開催しました。猛暑の中、中国5県の代表8チームが、「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」をメイン会場に熱い戦いを繰り広げました。



中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会とは？

「毎日ひたむきにがんばる子どもたちの夢を応援したい」という思いから、2004年より(中国ろうきん)の社会貢献活動の一環として、中国地区軟式野球連盟と(中国ろうきん)の共催で開催し、2022年で第19回目を迎えました。

	2021年度	2022年度
鳥取県	82	80
島根県	88	85
岡山県	105	104
広島県	143	143
山口県	116	112
合計	534	524



1日目 好きな野球ができる喜びと感謝をプレーで伝える夢の舞台、開幕！

まだまだ残暑が続く8月。初日の13日(土)、「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」で決勝大会が開幕しました。今年も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底。開会式では、本大会を支える方々からの励ましの言葉をもらった後、南観マリナーズスポーツ少年団の主将が元気よく選手宣誓を務めました。

初日は準々決勝の全4試合を実施。憧れの野球選手たちがプレーをするグラウンドをめざし、厳しい予選を乗り越えてきた選手たち。今年は真夏の開催のため、選手に水分補給を促しながら、熱中症対策を行うチームも。好きな野球ができることへの感謝を胸に、日頃の練習の成果を発揮し、暑さにも勝る白熱したプレーを見せてくれました。

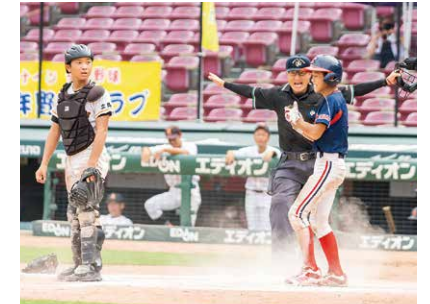


▲(中国ろうきん)東方田専務が始球式に登板。ナイスピッチングで試合開始。

2日目 互角の勝負が続く準決勝&決勝。一瞬のチャンスをつかみ栄光を

2日目は、準決勝と決勝が行われ、3位と準優勝・優勝チームが決まります。準決勝2試合とも、点の奪い合いで一歩も譲らない試合展開となり、競り勝った五日市観音少年野球クラブと邑久リーグース軟式野球スポーツ少年団が決勝の舞台へ進みました。

決勝戦は、準決勝同様、序盤から点の取り合いとなり、両チーム譲らぬ戦いを繰り広げました。白熱の試合に決着がついたのは同点で迎えた最終6回裏。牽制で1塁に投げた送球がそれた間に一塁ランナーが激走し、ホームイン。邑久リーグース軟式野球スポーツ少年団の優勝が決まりました。試合終了時には全力で挑んだ選手たちに拍手が送られ、熱い決勝大会の幕が閉じました。



水分補給もしっかり！



岡山県代表 邑久リーグース軟式野球スポーツ少年団
堅実な守りで勝ち抜いてきた邑久リーグース軟式野球スポーツ少年団。守りからリズムを作り、長打で得点を重ねる勝利の方程式で、見事優勝をつかみました。主将の吉永くんは「嬉しい！」と優勝の喜びを笑顔で語ってくれました。



広島県代表 五日市観音少年野球クラブ
“元気”・“勇気”・“根気”の3つの気を大切に、ここまで勝ち上がってきた五日市観音少年野球クラブ。チーム全員で優勝をめざして戦いましたが、惜しくも一歩及ばず。念願の優勝は、来年の後輩たちに託されました。

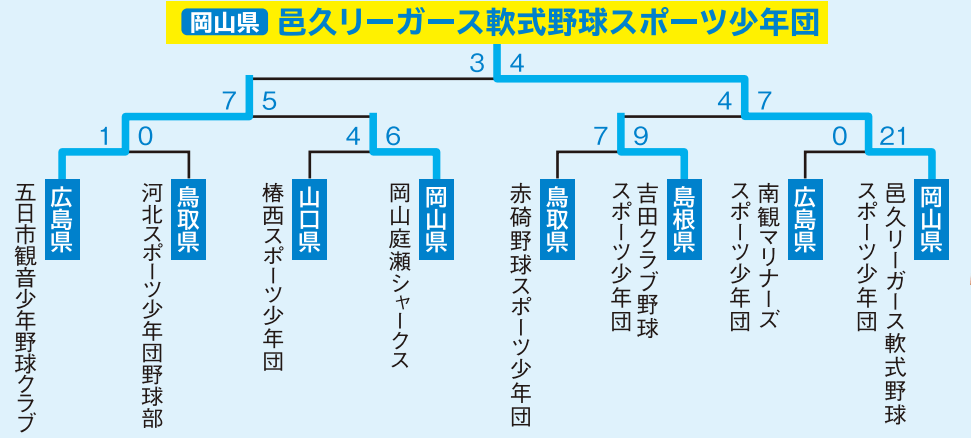
頑張れー！！



全力プレーの選手たちにスタンドからも全力応援！



決勝大会トーナメント表



岡山県代表邑久リーグース軟式野球スポーツ少年団主将